

企画脳 になろう!

～これからの発想法とPR戦略～



香西 志保さん
(映画監督/
百十四銀行営業戦略部)

2019年4月20日(土)
「企画脳になろう!～これからの発想法とPR戦略～」を開催しました。
普段は現役銀行員として働きながら、休日や仕事終わりの時間を使って映画監督としてもご活躍中の香西さん。香西さんのこれまでの経歴、人生におけるいくつかの転機についてのお話から、「アイデアを生み出す方法」や「SNSの効果的な使い方」など、様々な仕事や企画の役に立つお話をお聞きました。



第1部 講演



元々は新聞記者を志していましたが、社内報を作れるということで銀行員になり、窓口で3年間働いたのち、念願の社内広報担当に。社内報を作るにあたり「企画脳」になりたいと思い勉強をしたことが、大きな転機になりました。香西さんが製作された社内報は、全国社内報コンクールで金賞を受賞。その後異動がきっかけとなり、プライベートでも何かしたいと考え、29歳の頃、脚本の勉強を始め映画も撮るようになりました。「企画脳」は、映画の製作や脚本を書く上でも役に立っているそうです。他にもVMDインストラクターの資格を取ったり、筆ペンPOPの講師をしたりといった活動もされ、現在は、自治体の企画広報アドバイザーを担当されています。香西さんの企画力の高さは勿論のこと、次の目標に向けて常に準備をしておく、そして相手からの要望よりさらに良いものを作る、といった姿勢が、現在のお仕事や様々な結果に繋がっているように感じました。



講演後半は、実践編!
「企画脳」になる方法を
教えていただきました。

企画脳とは?
問題とゴールがあって、それを解決できるアイデアの企画から実現までを考えられる力。

では、どうしたら、**企画脳**になれるのか?

- ① 24時間考え続ける (意識し続ける)
- ② アイデアは空から降ってくる鳥の羽のようなもの。すぐにメモする。メモしながら考える。

アイデアを生み出す方法

- ① 問題からゴールを考える
- ② 「心の天井」を取り払う
これは難しかった。無理だった。無理だろうと考えると発想の扉が下がる。
- ③ 自分の感情が動いたのはなぜか、どの情報などをチェックする
自分はどんな場所なら行きたいか、見たいか、買いたいか、などからアイデアを考えていく。

- 企画力や発想力は生まれ持ったセンスではない。⇒後天的に伸ばすことができる!
- ヒラメキの量は、**インプットの量**と比例する。
- アイデアを生み出すには … **他人モード**から**自分モード**に切り替える。
⇒他人のために働き続けると、自分たちがそもそも何をしたかったのかわからなくなる。

どうしたら人の心に届くものを作ることができるのか？
SNSの最適投稿頻度の具体的な数値など
これからのPR方法についてもお聞きました。

なぜ、観光動画がバズっても来てくれないのか？
人は、心に3つのフォルダを持っている。

- ①「行かない／買わない／利用しない」フォルダ
- ②「行ってもいい／買ってでもいい／利用していい」フォルダ
- ③「行きたい／買いたい／利用したい」フォルダ

【段階別】各SNSの最適投稿頻度の比較

「初期」「中期」「後期」に分けて、各SNSの最適投稿頻度を比較してみました。

	ツイッター	フェイスブック	インスタグラム
<初期> 立ち上げ～3か月	1日7回以上	1日2回	1日1回
<中期> 3か月～半年	1日4～5回	1日2回	1日1回
<後期> 半年～1年	1日1回	1日1回	1日1回

第2部 個別会議では、
5名の市民の方の相談に
応えていただきました！



付箋を使ったアイデアの
まとめ方や、ターゲットを絞る方法など、
それぞれの現状に合わせた企画の
ご提案をしていただきました。

「企画脳」は、仕事以外にもプライベートでも活かすことができる、日々を楽しむものだと感じました。バイタリティ溢れる香西さんから、自分も何かやってみたい！というやる気と勇気もいただけたのではないかと思います。

今回は、30代の参加者の割合が47%と一番大きく、20～40代が全体の80%を占める講座となりました。また、参加者の男女比もほぼ同じで、若い男性の方に多くご参加いただくことができました。

今後も幅広い年代の方を対象とした、男女問わず生活の役に立つ事業を展開していければと思います。



／香西さんが製作、プロデュースされた物の一部＼



<参加者の感想>

楽しみながら仕事をする事で次の楽しい
仕事に繋がりそうだと思いました。(20代)

“心の天井”を取り払って前向きに頑張ってい
こうと思いました。講演面白かったです。

(20代)

アイデアを生むために香西さん自身が行っ
ていることを具体的に教えていただけて
よかったです。ありがとうございました。

(20代)

現場をとことん知るという姿勢がすてきだ
と思いました。

(30代)

情報収集方法やアイデアの生み方など、仕事
に活かせることを学べてよかったです。“自分
モード”で働くことを今後意識していきたいと
思います。

(30代)



香西先生のいきいきとした雰囲気よかったです。
日々努力されていること、私も少しづ
つマネしていきたいと思います。(40代)